

群馬県立女子大学 Prefectural Women's

University

A COLUMN TO THE STATE OF THE ST Department of English

Let your talent bloom





語コミュニケーション課程とは?

国際コミュニケーション学部では、2年次から2つの課程に分かれます。 その1つが「英語コミュニケーション課程」です!通称「英コミ」!

この課程では、聞く・読む・話す・書くなどの基本的な英語の力を養うだけでなく、音声や文法など、 さらに深く「英語」という言語を研究していきます。このリーフレットでは、授業やゼミの内容から卒業 後の進路まで紹介しています。先生方や学生の声、卒業生のインタビューをもとにした内容なので、 この一冊で英語コミュニケーション課程で学ぶ自分の姿をイメージできるはずです!

(各所に英文も掲載しているので、ぜひ読んでみてください!)



授業紹介

英コミなら<mark>ではの授業をpick up!</mark>

Communication in Jociety

Q. <u>どのような学生に受講してほしいですか</u>

A. Students are used to learning about grammar in sentences, but they have little knowledge about how to communicate in a foreign language. This class helps students to see how we actually communicate in English. It is not focused on sentence grammar, but on how an English conversation happens and what kinds of things help us to understand what students know intuitively in Japanese.

(In a sense, I hope students who take this class will say "Ah, naruhodo" many times. :-) I recommend that students should take this class if they want to understand how we communicate at a deeper level not only in English but also in Japanese.

Q. <u>どのような力が身につきますか</u>

A. I think that students can gain various skills regarding how to analyze communication for a deeper understanding. This means students will realize that understanding 'words' and 'grammar' is only the beginning of understanding how to communicate in society. There are many factors that affect how and what we say to each other. Students will get many opportunities to develop their social communication skills through practice and discussion in the class. This class is a good stepping stone for "Language Variation and Society", which includes topics such as language birth and death as well as dialects.





nterpretation

涌訳者になる為に必要不可欠な スキルを学ぶことができます! 英語学習にも役立ちます!





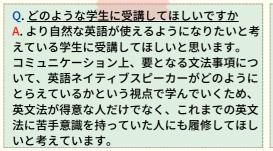
Q. どのような学生に受講してほしいですか A. If you are interested in interpretation (learning about what it involves and how to do it) and would like to boost your English speaking and listening skills to the next level, this class is for you. This class will challenge your ability to listen to what is being said in one language, process that information, and then render it in another language. To accomplish this, it is necessary to be aware of both linguistic and cultural differences. You don't have to have native-like fluency in English to take this class, but as interpretation does require a certain degree of proficiency in both languages, students should have a fairly good command of English. I recommend this class to anyone who enjoys a challenge and is interested in further improving their English language skills through the practice of interpretation.

Q. <u>どのような力が身につきますか</u>

A. As this class is practical rather than theoretical, students will practice a variety of drills aimed at improving concentration, retention, and mental multi-tasking, through which they will gain an understanding of what interpretation involves. In addition to increasing their vocabulary and learning note-taking techniques, students will learn to mentally organize and recall information they hear in both English and Japanese. Through practice, students will gain confidence and mental agility as they become used to switching back and forth between languages.

English Grammar for Communication

ハンドアウトや説明は すべて英語で行われるため、 英語力もアップできますよ!



Q. どのような力が身につきますか

A. 英語ネイティブスピーカーの持つ英語の感覚を理解し、その知識を駆使して、より自然な英語が使えるようになると思います。それにより、相手の意図を正確に理解したり、自分の意思を正しく伝えたりすることができるようになり、誤解のない円滑なコミュニケーションがとれるようになります。



英文法を勉強するなかで「どうしてそうなるの?」と疑問に思ったことがある 人は多いと思います。この授業では、今までよりも深く文法について学習し、 より自然な英語を使うことを目指します。

世界の英語



Q. <u>どのような学生に受講してほしいですか</u>
A. 標準的とされる英語だけでなく、世界の様々なタイプの英語について学ぶため、いろいろな国の人と英語によるコミュニケーションがスムーズにできるようになりたいと考えている学生に受講してほしいと思います。また、将来、英語を使って仕事をしたいと考えている人にも役に立つと思います。

Q. <u>どのような力が身につきますか</u>

A. 将来、様々な国の人たちと英語でコミュニケーションを取る際に戸惑うことのないような、いろいろなタイプの英語に関する知識が身に付きます。あわせて、日本語母語話者の英語の特徴も理解することで、私たちの使う英語がどのような点でコミュニケーションに支障をきたす可能性があるかについても意識できるようになると思います。

Intercultural Interactions



異文化コミュニケーション を詳しく学べます!

Q. <u>どのような学生に受講してほしいですか</u>
A.異なる文化、価値観、生活様式などに興味関心があり、そのようなバックグランドを持つ人と積極的にコミュニケーションをとりたいと思う学生、グローバル社会において、異なるバックグラウンドを持つ人々を理解し、受け入れ、お互いに尊重しながら生きていきたいと思う学生に履修してほしいと思います。

Q. <u>どのような力が身につきますか</u>

A.異なる文化、価値観を持つ人たちとコミュニケーションをしていく上で生じる問題、原因を理解し、またその問題の対処方法について考えられる知識が身に付きます。またその知識を活用することで、異なるバックグラウンドを持つ人々を理解し、受け入れられるようになると思います。



英語コミュニケーション課程の履修例

青:必修科目 赤:遊択必修、 強:日本語教員養成 プログラム(副専攻) みどり:共通教養科目 (国際理解プログラム) (本年によって授業名が 変更される場合があります **

2年生の履修例

日本語教員養成 プログラムに 参加している学生も 少なくない! 学部を超えた 学びもできます!

放課後には、 サークル活動! 週2で踊ってます!!

1限 9:00-10:30		Essay Writing (必修)		Reading (必修)	Debate & Discussion (必修)
2限 10:40-12:10	Listening (必修)	第二言語習得 (選択必修)			
LUNCH 12:10-13:00					
3限 13:00-14:30	日英語比較 [語彙/文法] (選択必修)		Extensive Reading (必修)	現代社会と 国際協力 (共通教育科目)	英語研究 【形態/統語】 (選択必修)
4限 14:40-16:20	英語研究 【談話/社会】 (選択必修)				
5限 16:20-17:50	多文化共生論 (日本語教員養 成プログラム)		日本語教育 文法論 (日本語教員養成 プログラム)		
			サークル		サークル

英コミはプレゼンを行う 授業が多いので、 空きコマで資料作り! ペアワークや グループワークも♥

空きコマには 友達と 一緒に課題をしたり、 コストコに行ったり♪



next...



ゼミ紹介

第二言語習得論ゼミナール

2つ以上の言語を話すってどういう仕組み?

そんな疑問を世界中の研究者の論文をもとにオールイングリッシュで 学びながら、自ら研究を行います。

分からないことはすぐ聞けるとってもフレンドリーな環境で楽しく学習できます!



言語習得論ゼミナール



言語習得論ゼミナールでは、乳幼児の母語習得や学習者の第二言語習得について学んでいます。言語を習得するうえで起こりやすい間違いを知ることで、自分の英語の使い方を確かめながら学ぶこともできます!

言語教育学ゼミナール

言語教育学ゼミナールは、英語の習得や教え方について、 海外の教科書や論文を読み、学生がプレゼンテーションを行う形で 授業を行っています。学問だけでなく、ツールとしての英語力や 社会に出てから役立つスキルを身に付けられるのもこのゼミの魅力です!



統語論ゼミナール



英語学習において「なぜそうなるの?」と疑問に思ったことは ありませんか?統語論ゼミナールでは、英文法のあらゆる視点 から各自で調査をし疑問点を討論します。学習を通してネイティブの感覚を学んでいます。私たちと一緒に英語について研究 してみませんか?(もれなく発音も学べます!)

意味・語用論ゼミナール

先生と一緒に、文章表現が持つ「意味」について研究しています。例えば「日本語の敬語は、それがなくても同じ状況を表現できるが、敬語によって相手に敬意を持っているということがプラスされる」といったことを分析します。難しい内容でも先生の適切なアドバイスとサポートで理解を深められます。また、レポート制作を通して英語の読み書きを繰り返し行うので英語力が身に付きます。少人数のため丁寧にじっくりと教えてもらえます!



管局学。管韻論ゼミナール

音声学・音韻論ゼミナールでは、英語・日本語にとらわれず、音に関わる事象について学んでいます。個人プロジェクトでは、社会に直結したテーマを 自分で実験したり、データを集めたりして研究しています。

リラックスした雰囲気で、お互いの研究を助け合いながら学習しています!



社会言語学ゼミナール



社会言語学ゼミナールでは、話者の生活する地域・階級・性別などの社会的要因と言語の関わりについて学習します。簡単に言うと、私たちが実際に英語でどのようにコミュニケーションを取っているのかを学びます。 授業では、ディスカッションやグループワークが多いので、楽しみながら勉強できます。知識だけでなく、積極性やコミュニケーション力も養えるゼミです!

認知言語学ゼミナール

認知言語学ゼミナールの学生は、日本語と英語の違いを研究したり、 異文化コミュニケーションについて深く考えたりしています。 学年に関係なく一緒に学びを深められ、イベントもみんなで楽しみ ます。先輩方から就活に役に立つ話もたくさん聞けます!



Break time フ 英コミで良かったエピソード

- ✓ 名前のとおり、コミュニケーションを取りながら進んでいく授業が多いから 楽しく学べて、時間もあっという間!
- ✓ 海外の語学学校と同じ環境で学べる!いつでも留学気分!
- ▽ プレゼンカ、コミュカ、行動カのスキルアップが期待できる**!**
- ✓ 先生方と気軽に話せて、就活の相談も親身になって聞いてくれる!
- ▽ ハロウィン、クリスマスなどイベントごとは全力で楽しむ!
- ▽ 個性を尊重してくれるし明るいし、前向きになれる!!



卒業生インタビュー



2016年度卒業生

A.K.さん

小学生のころから、CAになりたいと同時に教員になることも夢でしたが、国際コミュニケーション学部の授業内容に大変興味を持ち、国際コミュニケーション学部に入りました。私が2年生から所属した英語コミュニケーション課程では英語を深堀りしていきます。接尾辞、接頭辞などを学んでいくうちに言葉のつながりが見えてきて、どんな言葉を使えば、相手にとってわかりやすいかを考えながら話せるようになっていきました。ゼミでは英語に触れる機会が特に多く、楽しく、わかりやすく、を意識して話すようにしていましたし、わからないことがあればすぐに先生に聞ける環境がありました。県女の就職支援は手厚く、志を同じくする仲間たちも多いため、情報交換もできます。私は、新卒・既卒ともに受け入れ可能な募集でCAの内定をもらったため、4年生の11月から働き始めることができました。周りの学生とは少し違う就職活動経験をしましたが、大学が柔軟に対応してくれました。コロナ禍の拡大もあり、現在は転職して広告代理店で勤務しながら、タイ・バンコクで暮らしています。



2

2018年度卒業生

N.I.さん



大学時代は言語習得論ゼミナールに所属し、子供の母語習得や学習者の第二言語習得について学んでいました。現在、プラスチック製品を作るための機械を作る会社に勤務し、国際営業部で中国支社の担当をしています。上司に中国人の女性がいるのですが、息子さんに中国語で話しかけても日本語で返してくるそうです。私は、その話を聞いて、その息子さんの母語は日本語なのではないかと考えました。ぜった。で勉強していなければ「ヘー」と思うだけで終わってしまいますが、言語習得について学んでいたからこそ興味を持って聞くことができました。また、言語習得には、ある年齢を過ぎると言語の習得が困難になるという「臨界期仮説」というものがあります。しかし、一緒に仕事をする中国人の方が小さいころから日本語を話せたわけではないたり、日本人上司が50代で中国語を話せるようになったという例を見たりすると、自分も遅くはないと感じ、中国語を学ぶモチベーションになっています。

3

2008年度卒業生

A.I.さん

大学時代から海外で働くことが夢だったので、英語力を向上させ、様々な国の人と働くことを目標とする人が集まる英語コミュニケーション課程を選択しました。在学中に最も苦戦したのはディベートの授業です。自分の持っている意見と反対側の立場でも発言しなければならず、どのように相手を説得するのか試行錯誤を繰り返しました。実際に社会に出てからは、自分の考えを持ち、主張し、相手に納得してもらうことは非常に重要な能力となります。社会に出る前にこのような経験をさせてくれる県女に通えてとても良かったです。現在は、群馬県に本社のあるメーカーで勤務しています。社会人10年目の秋にドイツへの海外赴任が決まり、夢をかなえることができました。海外に行きたいと常に会社に伝え続けて良かったと感じました。



2019年度卒業生

M.K.さん



英語を音声・文法・意味など多角的な視点から学ぶことできる点に惹かれ、 英語コミュニケーション課程を選びました。仕事で行なっている「日本語でできた設計図を英語に翻訳する」作業では、英コミの授業で学んだ「どのように英訳したら相手に分かりやすく伝えることができるか」ということを活かすことができています。また、県女の授業ではプレゼンをする機会が多くあります。以前は人前で話すことに苦手意識がありましたが、県女で場数を踏んだことで、社会人になってからも堂々と納得のいく発表ができるようになりました。大学での経験や学びが社会人での生活に活かされていると感じることが多いです。大学生活ではやりたいことに没頭することができた卒業論文の執筆が特に印象に残っています。自分自身が成長することができ、楽しい執筆期間を過ごすことができました。

(5) 2019年度卒業生

M.M.さん

私は、コミュニケーション力をつけたかったほかに第二言語習得や教育に興味があったので、ゼミを複数選択していました。特に言語教育学ゼミナールでは、毎週の課題に徹夜しながら取り組んでいましたが、どれも興味深い内容だったので、楽しみながら乗り越えることができました。興味のあることを研究してきたからこそ、現在も学ぶことへの楽しみをもって仕事ができています。また、どんなに大変な仕事も、ゼミナールでの経験を乗り越えてきたからこそ強い気持ちでやりきることができています。私の人生において、県女での経験は財産です。現在は、英語を習得したいといった希望を持った大人のお客様に対するコーチングやコンサルティングのお仕事をしています。ゼミナールでの学びを仕事に直接活かせているのでとても楽しく仕事をしています。



6 2014年度卒業生

K.F.K.さん



私は、就職しても活かせるレベルの英語を学びたいと思い英語コミュニケーション課程を選択しました。実際に英語でコミュニケーションをとる時間や自分の意見を述べる場が多かったので、社会に出てからも怖気ることなく発言できています。また、授業形式として、アメリカの大学の勉強方法を取り入れていた授業があり、授業前に行う課題の量が多く大変でしたが、今では自分の仕事のやり方、考え方に結びついていると感じています。この学部は、言語を学ぶのではなく、言語をツールとして学ぶことの楽しさを教えてくれました。そのおかげで、言語を正しく使うことが全てではなく、コミュニケーション能力が本当に大切だと感じています。

~卒業生からのメッセージ~

英語を学びたい人、ネイティブの先生と話す機会を増やしたい人には最適な環境です!少人数教育や留学制度も整っています。自分の興味を探しながら、やりたいと思うものがあった時や新しいことに挑戦する機会が訪れた時には、恐れずにチャレンジしてみてください!

英コミ/国コミ あるある

2号館 (新館) 6階の 共有スペースに集まりがち 「眼鏡、ネイティブ、男の先生」に当てはまる教員が多すぎて、 どの先生かわからない。 だけど、みんなジェントルマン・

2年生の後期から、 留学で多くの学生が キャンパスからいなくなる!?

何を学んでいるのか一言では 表現・説明できない!! だから見て聴いて!

> 先生方にメールや授業を通して Happy Birthday してもらえる・

履歴書を書くときに 学部と課程名を 学部と以めるのが大変! スペースに収めるのが大変!

> TOEICの点数が上がってるのに 英語のクラス分けが下がる!?

《あとがき》

このリーフレットは、学生が主体となり学生目線でお伝えしています! 英語コミュニケーション課程で学ぶ自分の姿がイメージできましたか? まだまだ魅力を伝えきれていません!先生、先輩方みんなフレンドリーなので 気になることがあれば何でも聞いてくださいね!お待ちしています♥

表紙にある木は、県女の英コミというキャンパスライフを幹として、 卒業後にその生活を糧とし、社会の様々な方面で活躍する姿を色とりどりの花で 表現しています。

Let your talent bloom!!

国際コミュニケーション学部/英語コミュニケーション課程 白石奈々 浅見佳音 尾上綾 須川ありさ 井上あゆみ 品田梨緒

Check it out?

群馬県立女子大学ウェブサイト (https://www.gpwu.ac.jp) 英語コミュニケーション課程ウェブサイト (https://www.gpwu.ac.jp/dep/int/eng/)

作成:2022年 9月

(このリーフレットの内容は2022年9月現在のものです。今後、内容が変更する可能性もあります。)

(使用されている写真は、撮影時のみマスクを外しています。)